

## &lt;地域公共交通計画の評価等結果の様式&gt;

資料 1 - 2

東浦町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年11月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<b>目標1</b> <b>公共交通利用頻度の向上</b> ・「う・ら・ら」 0.5日／月（令和3年度）→ 0.6日／月（令和8年度） ・「う・ら・ら」以外の路線バス 0.2日／月（令和3年度）→ 0.3日／月（令和8年度） ・JR武豊線 2.0日／月（令和3年度）→ 2.1日／月（令和8年度） ・名鉄河和線 0.7日／月（令和3年度）→ 0.8日／月（令和8年度） ・タクシー 0.1日／月（令和3年度）→ 0.2日／月（令和8年度）	—	—	—	—	計画最終年度（令和8年度）に実施するアンケート調査により評価

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

東浦町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年11月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p><b>目標2</b> 公共交通利用者数・利用台数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「う・ら・ら」 179,539人/年（令和2年度）→ 260,000人/年（令和8年度）</li> <li>知多バス「東ヶ丘団地線」 31,722人/年（令和2年度）→ 45,000人/年（令和8年度）</li> <li>知多バス「大府線」 102,487人/年（令和2年度）→ 185,000人/年（令和8年度）</li> <li>知多バス「刈谷中部空港線」 1,545人/年（令和2年度）→ 98,000人/年（令和8年度）</li> <li>タクシー 11,122/台（令和2年度）→ 22,000台/年（令和8年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業1-3 知多バス「東ヶ丘団地線」の利便性向上</li> <li>事業1-4 知多バス「刈谷中部空港線」の活用</li> <li>事業4-2 回数券の共通利用</li> <li>事業5-1 公共交通パンフレットの作成</li> </ul>	<p>令和4年4月から令和4年11月の乗車データより計測</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「う・ら・ら」 163,770人/年（令和4年4月～11月） <b>（注意）</b> 4月～11月の計で比較</li> <li>平成30年度比 12,118人減 7%減</li> <li>令和元年度比 6,636人減 4%減</li> <li>令和2年度比 50,835人増 45%増</li> <li>令和3年度比 16,698人増 11%増</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>R8年度の目標値260,000人は地域公共交通計画で規定。コロナ禍以前であるH30年度の利用者数258,881人を丸めた数値。</li> <li>R4年度の実績値は11月末までの測定となるため、R4年度とH30年度の比較は4月から11月までの計で行う。実績値から、R4年度は12,118人減（7%減）となっている。</li> <li>R4年度がH30年度（目標値）の利用者数に及ばなかった要因は、<b>R1.10月のダイヤ改正による利用離れとコロナ禍による生活様式の変化が主なもの</b>だと考えられる。</li> <li>ただし、R3.2月に行ったダイヤ改正やワクチン接種等による外出意識の変容から、<b>R3.2月以降は利用者数は回復傾向</b>にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画に記載された施策を着実に実施する。</li> <li>公共交通の利用方法の周知や利用促進を目的とした「事業5-1 公共交通パンフレットの作成」については、令和4年度末に発行予定である。パンフレットでは「う・ら・ら」のほか、<b>近隣の行政バス、民間バス・タクシーの乗り方を紹介</b>するほか、おでかけスポットなども掲載する。</li> <li>パンフレットに掲載するおでかけスポットについては、事前に「のりつぎ旅」を企画し、町広報紙でおでかけプランを提案するほか、参加者の意見等を聞き取った。このような、<b>公共交通に関心を持っていただくきっかけづくり、周知を継続して実施</b>していきたい。なお、のりつぎ旅で案内したおでかけスポットは、隣接する大府市のおおぶ文化交流の杜と、刈谷市の刈谷市美術館である。</li> <li>令和4年10月から、民間バス・タクシーの利用促進を目的に「事業4-2 回数券の共通利用」を開始した。回数券の利用枚数は、令和4年11月末現在で、知多バス「東ヶ丘団地線」で28枚、タクシー事業者で71枚と利用はまだ少ない。<b>引き続き周知活動を実施し、民間バス・タクシーの利用促進に努める。</b></li> </ul>	<p>地域公共交通計画は令和4年度から運用開始。そのため、「う・ら・ら」以外の公共交通は年度末までのデータを翌年度に分析・評価する。</p>

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

東浦町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年11月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p><b>目標 3 (1/2)</b>  「う・ら・ら」各路線・系統の利用者数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環状線（左回り） 62,033人／年（令和2年度）→ 80,000人／年（令和8年度）</li> <li>・環状線（右回り） 46,638人／年（令和2年度）→ 72,000人／年（令和8年度）</li> <li>・長寿線 33,845人／年（令和2年度）→ 48,000人／年（令和8年度）</li> <li>・刈谷線 22,124人／年（令和2年度）→ 29,000人／年（令和8年度）</li> <li>・東浦高校線（於大公園南経由） 11,928人／年（令和2年度）→ 22,000人／年（令和8年度）</li> <li>・東浦高校線（文化センター経由） 8,536人／年（令和2年度）→ 11,000人／年（令和8年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業1-1 「う・ら・ら」、路線バスの経路及びダイヤの見直し</li> <li>・事業5-1 公共交通パンフレットの作成</li> <li>・事業5-2 「う・ら・ら」の路線図・時刻表の発行</li> </ul>	<p>令和4年4月から令和4年11月の乗車データより計測</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環状線（左回り） 50,472人／年（令和4年4月～11月） <b>（注意）4月～11月の計で比較</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度比 239人減 2%減</li> <li>・令和2年度比 10,794人増 27%増</li> <li>・令和3年度比 3,760人増 8%増</li> </ul> </li> <li>・環状線（右回り） 42,424人／年（令和4年4月～11月）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度比 488人増 4%増</li> <li>・令和2年度比 14,305人増 51%増</li> <li>・令和3年度比 1,531人増 4%増</li> </ul> </li> <li>・長寿線 32,249人／年（令和4年4月～11月）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度比 3,259人増 11%増</li> <li>・令和2年度比 10,350人増 47%増</li> <li>・令和3年度比 4,321人増 15%増</li> </ul> </li> <li>・刈谷線 19,485人／年（令和4年4月～11月）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度比 3,504人増 22%増</li> <li>・令和2年度比 5,568人増 40%増</li> <li>・令和3年度比 2,515人増 15%増</li> </ul> </li> <li>・東浦高校線（於大公園南経由） 15,034人／年（令和4年4月～11月）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度比 1,481人増 61%増</li> <li>・令和2年度比 7,397人増 97%増</li> <li>・令和3年度比 3,356人増 29%増</li> </ul> </li> <li>・東浦高校線（文化センター経由） 7,614人／年（令和4年4月～11月）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度比 315人減 14%減</li> <li>・令和2年度比 1,934人増 34%増</li> <li>・令和3年度比 1,386人増 22%増</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に記載された施策を着実に実施する。</li> <li>・「事業5-1 公共交通パンフレットの作成」については、目標2と同様。</li> <li>・「事業5-2 「う・ら・ら」の路線図・時刻表の発行」については、住民の方から「時刻表が複雑である」といった意見を多く頂くため、地域のバス停とスーパーや病院などの主要施設のバス停の発着時刻をまとめた<b>地域版の時刻表</b>を令和4年10月に発行した。地域のサロンや産業まつりで開催した乗り方教室の際に、お試し乗車券（有効期限：1か月、利用回数：6回分）とともに配布した。</li> <li>・お試し乗車券は、おおぶ文化交流の杜や刈谷市美術館を目的地とした「のりつき旅」でも配付したが、藤江地区のサロンで開催した乗り方教室で配布したお試し乗車券の利用率が42%と最も高かったため、<b>実際に路線図・時刻表の読み方や乗り方をお伝えするとともに、地域版の時刻表を配布することで、次の利用に繋がりがやすいことが分かった</b>。来年度以降も地域版の時刻表の発行・配布だけにとどまらず、次の利用に繋がる周知・利用促進活動に努めたい。</li> <li>なお、地域版の時刻表は、役場やコミュニティセンターでも配布している。</li> </ul> <p><b>（参考）</b> お試し乗車券の利用者数／利用者割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①のりつき旅第1弾（大府市） 1人 11%</li> <li>②のりつき旅第2弾（刈谷市） 4人 29%</li> <li>③乗り方教室（藤江サロン） 8人 42%</li> <li>④乗り方教室（産業まつり） 40人 16%</li> </ul> <p>※令和4年11月30日現在の集計。④の有効期限は令和4年12月13日まで。</p>	<p>令和元年10月から運行を開始した「環状線（左）」及び「環状線（右）」、「東浦高校線（於）」、「東浦高校線（文）」、「長寿直行便」については、令和元年度比の期間を10月～11月の2か月間とする。</p>

## ＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

資料 1 - 2

東浦町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年11月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p>目標3(2/2) 「う・ら・ら」各路線・系統の利用者数の増加</p> <p>・長寿医療センター直行便 528人/年（令和2年度）→ 1,200人/年（令和8年度）</p>	<p>・事業1-1 「う・ら・ら」、路線バスの経路及びダイヤの見直し</p> <p>・事業5-1 公共交通パンフレットの作成</p> <p>・事業5-2 「う・ら・ら」の路線図・時刻表の発行</p>	<p>令和4年4月から令和4年11月の乗車データより計測</p>	<p>・長寿医療センター直行便 552人/年（令和4年4月～11月） <b>（注意）4月～11月の計で比較</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度比 73人増 74%増</li> <li>・令和2年度比 239人増 76%増</li> <li>・令和3年度比 184人増 50%増</li> </ul> <p>・長寿線と刈谷線、東浦高校線（於大公園南経由）、東浦高校線（文化センター経由）は、4月から11月までの利用者数の推移、平均値等から、<b>R4年度には目標を達成する可能性がある。</b></p> <p>・環状線（左回り）と環状線（右回り）が目標を達成するには、12月から3月までの各月の利用者数が約7,400人以上となる必要がある。環状線（左回り）と環状線（右回り）ともR4年度中の最大値がこの数値に及ばないことから、R4年度には目標を達成できない見込みである。</p> <p>・環状線（左回り）と環状線（右回り）について、R4年度の利用者数が目標に及ばない要因（見込み）は、<b>R1.10月のダイヤ改正による利用離れとコロナ禍による生活様式の変化が主なものだと考えられる。</b></p> <p>・長寿医療センター直行便が目標を達成するには、12月から3月までの各月の利用者数が約160人以上となる必要がある。長寿直行便のR4年度中の最大値がこの数値に及ばないことから、R4年度中には目標を達成できない見込みである。</p> <p>・長寿医療センター直行便について、R4年度の利用者数が目標に及ばない要因（見込み）は、<b>本便の利用用途が早朝の通院に限られているうえ、目的地が病院という特性上、密を避ける意識が働きやすく、病院への移手段がバスから自家用車に移行したことなどが主なものだと考えられる。</b></p>		<p>令和元年10月から運行を開始した「環状線（左）」及び「環状線（右）」、「東浦高校線（於）」、「東浦高校線（文）」、「長寿直行便」については、令和元年度比の期間を10月～11月の2か月間とする。</p>

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

資料 1 - 2

東浦町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年11月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p><b>目標4</b>                      駅勢圏半径800m、バス停勢圏半径300mにおける人口カバー率の向上                      95.1%（令和3年度）→                      上昇（令和8年度）</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>計画最終年度（令和8年度）に実施するアンケート調査により評価</p>
<p><b>目標5（1/2）</b>                      各地区（小学校区の代表バス停）から主要地点・施設への「行きやすさ」の向上                      小学校区の代表バス停ごとに以下を設定。詳細は参考資料を参照。                      ・始発便 主要施設到着時刻                      ・最終便 主要施設発着時刻                      ・最大滞在可能時間                      ・運行頻度（往路）                      ・運行頻度（復路）                      ※実績値には数値に変化のあった指標のみ掲載。</p>	<p>・<b>事業1-1</b>                      「う・ら・ら」、路線バスの経路及びダイヤの見直し                      ・<b>事業1-4</b>                      知多バス「刈谷中部空港線」の活用                      ・<b>事業2-1</b>                      タクシーを活用した新たな公共交通の導入                      ・<b>事業2-2</b>                      地域内の短距離移動を保管する新たな公共交通の導入                      ・<b>事業2-3</b>                      企業送迎バス等の公共交通化・共同運行の働きかけ</p>	<p>令和4年11月末の運行ダイヤにて計測</p>	<p>コロナ禍の影響を受けて、大きく変化した利用ニーズに順応するため、知多バス「大府線」及び「東ヶ丘団地線」がR4.10月にダイヤ改正を行った。このことに伴って、森岡小学校区の代表バス停「森岡自然公園」、緒川小学校区の代表バス停「相生の丘」、卯ノ里小学校区の代表バス停「新田分団詰所」、藤江小学校区の代表バス停「平池台」の指標が変化した。                      （詳細は参考資料を参照）                      ■<b>森岡自然公園</b>                      ○始発便 主要施設到着時刻                      ・大府駅（休日） 75分遅くなる                      ・金山駅（休日） 71分遅くなる                      ○最大滞在可能時間                      ・大府駅（休日） 75分短くなる                      ・金山駅（休日） 71分短くなる                      ○運行頻度（往路）                      ・大府駅（平日） 3便減                      ・大府駅（休日） 8便減                      ・金山駅（平日） 3便減                      ・金山駅（休日） 8便減                      ○運行頻度（復路）                      ・大府駅（平日） 2便減                      ・大府駅（休日） 7便減                      ・金山駅（平日） 3便減                      ・金山駅（休日） 6便減</p>	<p>・計画に記載された施策を着実に実施する。                      ・知多バス「大府線」及び「東ヶ丘団地線」は、地区と鉄道駅を結ぶ重要な生活路線であるため、継続的な運行が可能となるような利用促進策・支援策の検討が必要。                      ・現段階で乗継可能な発着時刻の周知や、おでかけプランの提案などを事業者と共同で行っていく必要がある。</p>	<p>知多バス「東ヶ丘団地線」及び「大府線」が令和4年10月1日に実施したダイヤ改正によって、策定時の数値から一部変化あり</p>

## &lt;地域公共交通計画の評価等結果の様式&gt;

資料 1 - 2

東浦町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年11月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<b>目標5(2/2)</b> 各地区（小学校区の代表バス停）から 主要地点・施設への「行きやすさ」の 向上			<b>■相生の丘／新田分団詰所</b> ○始発便 主要施設到着時刻 ・異ヶ丘駅（平日） 16分遅くなる ○最終便 主要施設発着時刻 ・異ヶ丘駅（平日） 16分早くなる ○最大滞在可能時間 ・異ヶ丘駅（平日） 32分短くなる ○運行頻度（往路） ・異ヶ丘駅（平日） 1便減 ○運行頻度（復路） ・金山駅（平日） 1便減 ・金山駅（休日） 1便減 <b>■平池台</b> ○運行頻度（復路） ・異ヶ丘駅（平日） 1便増		
<b>目標6</b> 高齢者（65歳以上）の外出頻度の向上 4.7日／週（令和3年度）→ 5.6日／週（令和8年度）	—	—	—	—	計画最終年度（令和8年度）に実施するアンケート調査により評価
<b>目標7</b> 年代別外出頻度の向上 ・学生～60代前半 5.9日／週（令和3年度）→ 5.9日／週（令和8年度） ・60代後半～70代 5.1日／週（令和3年度）→ 5.9日／週（令和8年度） ・80歳以上 3.8日／週（令和3年度）→ 4.9日／週（令和8年度）	—	—	—	—	計画最終年度（令和8年度）に実施するアンケート調査により評価
<b>目標8</b> 他人と会話や交流ができる”おでかけ先”に「う・ら・ら」利用で行く人の割合の向上 12%（令和3年度）→ 20%（令和8年度）	—	—	—	—	計画最終年度（令和8年度）に実施するアンケート調査により評価

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

東浦町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年11月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p><b>目標 9 (1/2)</b>  <b>高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数の増加</b>                      141.8件（平成28年度～令和2年度の平均）→                      200件（令和4年度～令和8年度の平均）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業6-1 地域に出向いた乗り方勉強会の開催</li> <li>・事業6-4 高齢者運転免許自主返納支援事業の強化</li> </ul>	<p>半田警察署の有する返納件数に関するデータより計測</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数</b> 82件（令和4年4月～11月） <b>（参考）4月～3月の計</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 124件</li> <li>・平成29年度 136件</li> <li>・平成30年度 130件</li> <li>・令和元年度 183件</li> <li>・令和2年度 136件</li> <li>・令和3年度 122件</li> </ul> </li> <li>・R4.11月現在の自主返納件数82件は、1日あたり0.34件/日、<b>1年（365日）あたり124件/年</b>となる。このR4年度年間返納件数124件は概算ではあるが、目標との比較を行うと、R4年度には目標を達成できない見込みである。</li> <li>・R4年度の自主返納件数が目標に及ばない要因（見込み）は、<b>地域公共交通の周知が行き渡っておらず、住民が抱える不安（返納した後の生活をイメージできない等）の解消が十分にできていないことが考えられる。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に記載された施策を着実に実施する。</li> <li>・「事業6-1 地域に出向いた乗り方勉強会の開催」については、高齢者が参加するサロンや地域のイベントに赴き、ブースを設ける等して以下のとおり開催した。 目標3の評価に記載したお試し乗車券の実績からも、本事業の開催によってバスを利用するきっかけづくりができていると考えられる。<b>自家用車から公共交通への移行を支援するとともに、運行経路や利用方法などに関する不安払しょくに貢献できるよう、引き続き本事業を行う必要がある。</b></li> <li>・乗り方教室（藤江サロン） 開催日 令和4年10月5日 参加者数 19名</li> <li>・乗り方教室（産業まつり） 開催日 令和4年11月12日 参加者数 300名程度</li> </ul>	<p>令和4年4月から令和4年11月までの実績値。</p>

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

東浦町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年11月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p>目標9(2/2) 高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数の増加</p>			<p>【補足】 ・高齢者運転免許自主返納支援事業の支援件数 109件（令和4年4月～11月） <u>（注意）4月～11月の計で比較</u> ・平成28年度比 26件増 31%増 ・平成29年度比 2件増 2%増 ・平成30年度比 23件増 27%増 ・令和元年度比 29件減 21%減 ・令和2年度比 6件減 5%減 ・令和3年度比 23件増 27%増</p> <p>・R4年度について、高齢者運転免許自主返納支援事業の1月あたりの支援件数が最も多くなったのが、8月で21件であった。この月に支援件数が増えた要因は、民間企業が休業かつ、半田警察署・役場が開庁しているお盆休みの期間と重なり、<b>返納・支援の窓口に行く足を家族などに頼りやすいことと、広報紙による周知のタイミングが上手く作用したこと</b>だと考えられる。</p> <p>・返納支援事業の窓口（住民自治課）には、返納したいが半田警察署に行く手段がないという声も届いており、返納件数が目標に達しない要因の一つには、<b>返納窓口までの距離が遠いこと、返納窓口までの足がないことから自主返納を取りやめる方が一定数いること</b>等も考えられる。</p>	<p>・「事業6-4 高齢者運転免許自主返納支援事業の強化」については、令和4年度の支援件数は実績値の補足のとおりである。平成31年4月19日に東池袋で起きた交通事故等、高齢者による交通事故が大きく報道された年度は支援件数が増加する傾向にある。</p> <p>また、令和4年度は8月の広報紙にて支援事業の案内をしたところ、1月当たり支援件数は21件と多くの方に利用いただいた。<b>引き続き、周知活動を行う必要がある。</b></p>	



## ＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

資料 1 - 2

東浦町地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年11月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<b>目標10</b> 最寄りバス停の認知度の向上 92.5%（令和3年度）→ 100%（令和8年度）	—	—	—	—	計画最終年度（令和8年度）に実施するアンケート調査により評価
<b>目標11</b> 「う・ら・ら」収支率の向上 9.5%（令和2年度）→ 13.0%（令和8年度）	—	—	—	—	計画最終年度（令和8年度）に実施するアンケート調査により評価

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「—」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。